



先生とOB
座談会!!

公認会計士へGO!

超難関の国家資格として知られる公認会計士。企業等が公開する財務情報を検証し、その正しさを保証する、監査・会計のプロフェッショナルです。経営学部経営学科を卒業して試験を突破し、現在は監査法人で活躍するOB3人が、指導教授だった東良徳一先生を交え、合格までの道のりや在学中の思い出を語り合いました。

秀才、がむしゃら、ぼんやり タイプの異なる3人

3人とも関西大学会計専門職大学院に進まれたんですね。公認会計士を目指したのはいつごろからですか。

向 就活が始まる大学3年生くらいでした。公認会計士を目指す東良先生のゼミで大学院進学を勧められ、そこから意識しました。といっても漠然と「資格の道を行きたい」という感じで、このゼミに入っていなかったら現実味のない資格でした。

金田 高校時代はサッカー一色で、本気でプロになろうと思っていました。けがをし

て他の道考えた時、大産大が学習支援センターで簿記を教えてくれると知って進学し、大学1年生のときから公認会計士か税理士に、と思っていました。

久保田 真剣に勉強を始めたのは大学3年生くらいでしょうか。高校で簿記はやっていましたが、大学に来て「何か武器がないと社会に出た時に危ないな」と感じて、大学2年生で東良先生のゼミに入りました。

東良 3人とも2年生で入ってきたんです。タイプとしては向君が「秀才型」、金田君は「がむしゃら」、久保田君は「ぼんやり」。(笑)。全く違います。

?

公認会計士試験に合格した卒業生へ 在校生が聞く!

公認会計士や税理士を目指す学生が多く在籍する会計スペシャリストコース。公認会計士として活躍する先輩に質問をしました。

※ 本記事に登場くださった東良先生、卒業生の方々は、会計スペシャリストコース前身の会計士特修コース（CPAコース）に所属されていました。会計士特修コースの教育スタイルは会計スペシャリストコースに引き継がれ、更に目標とする会計スペシャリストを拡大し、その教育内容は進化しています。

師の教えは「同じ問題集を3回」
どんな勉強をしたのでしょうか。

久保田 図書館でひたすら同じ問題を解きまくって、反復勉強ばかりしていました。理解するより体で覚えろ、じゃないですけど(笑)。

東良 私が常に言っていたんですよ。「同じ問題集を3回やれ」と。やった人は伸びたと思います。

向 公認会計士に合格したのは昨年ですが、その前年、「3回繰り返し」ということをしっかりと実践しました。それまでは新しい問題に手を広げ過ぎていたと思います。教えていただいたことをちゃんとやっていたら、もっと早く合格できたかもしれません。大学院を出た後は試験を目指してアルバイトや派遣



久保田 尚良さん
滋賀県立八幡商業高出身、
2011年入学。
有限責任あずさ監査法人
所属。



金田 湧生さん
長崎県立国見高出身、
2010年入学。
PwCあらた有
限責任法人所属。



東良 徳一さん
経営学部経営学科元教授、
公認会計士。
2018年7月から奈良県生
駒市監査委員。



向 直大さん
滋賀県立八幡商業高出身、
2009年入学。
RSM清和監査法人所属。

で仕事をしていた、親はすごく心配したと思います。諦めなかっただけで合格したみたいなものですよ。

金田 私もやりました。ただ、できた問題を100回やっても成長はない。できなかった問題について「なんで間違っただろう」と理由を探る。そうすれば成長すると思います。

幅広く生かせる資格

公認会計士の魅力や、監査法人での仕事について、教えてください。

金田 世の中でどうしても必要になる「お金」について、専門的な役割を果たすのが公認会計士です。企業の決算は3月が多く、忙しくてゴールデンウィークはない(笑)。でも6月後半から7月

には1週間くらい休暇を取って、コロナ前なら海外に行ったりできました。

久保田 面白いと思うのは、普通に就職すると自分の会社のことしか分らないのですが、公認会計士は担当するさまざまな会社のビジネスを知ることができる点です。

向 先輩たちと一緒に仕事をしていると、僕が気に留めなかった点まで目を配られています。知識も大事ですが、経験を積み重ねることで感覚が磨かれていくのかなと思います。

東良 公認会計士の多くはまず監査法人に入ります。定年まで勤める方もいれば、税理士資格も取れるので独立する道を選ぶ方も。私も監査法人を経て独立し、今は、生駒市の監査委員をしています。生涯いろいろ使えて、選択肢が多い資格です。私のように大学教授になるみちもありますね(笑)。

Q

計画通りに勉強できない時など、お勧めの気持ちの切り替え方がありますか。

A 友達とご飯を食べに行ったり、散歩をすることでリフレッシュをしました。また、日曜日や平日の「やる気がないな」という時は勉強をやめるなど、気持ちを切り替えました。焦らずやればいいと思います。

Q

会計基準や税制などはどんどん進化します。専門家としてどう対応しますか。

A プロとして責任があるので、顧客に「わかりません」とは言えませんし、一番恥ずかしい。所属する法人もフォローしてくれるので、研修や実務を通して勉強していけばいいと思います。

大阪産業大学は 個別指導で丁寧にサポート

経営学部 経営学科 松本 尚哲 教授

会計・簿記系の資格を取りたいという意欲を持った学生や、もっと高難度の会計士、税理士の資格を取りたいという学生が増えていきます。我々教員は、そうした学生を個別に指導することで、より丁寧なサポートを心がけています。コースの学生が高い目標を持って頑張っているの、私個人としても、本人の希望に沿った進路に進めるようしっかりバックアップしていきたいです。